

「東北地方太平洋沖地震」チャリティ企画  
**人形師 辻村寿三郎展**  
 ～安土桃山 花の宴～  
 収益金の一部を日本赤十字社へ寄付いたします

2011年  
 4月22日(日) 5月22日(日)  
 10:00-18:00  
 (最終入館17:30)

会場 入会料 1,500円  
 ※小学生以下無料

目黒雅叙園 検索



# 京急で江戸前味巡り

羽田空港の国際化で注目される大田区内の商店街を電車で巡ってもらおうと、京急電鉄は二十九日から、乗り降り自由のフリー切符と江戸前料理の食事券などをセットにした「大田江戸前きっぷ」を発売する。東日本大震災の発生後、外国人客を中心に空港利用が大幅に落ち込んでおり、地元商店街はにぎわい回復への願いを切符に乗せている。

(増田恵美子)

この「大田江戸前きっぷ」には、区や桃谷、萩中通り、雑色、梅屋敷の四つの地元商店街も協力している。

区内の全十二駅で、自由に乗り降りできる。また、地元の江戸前料理を楽しむように、「厳選十店舗」で六子天井やすし、そばを味わえる食事

券が付いている。さらに、各商店街に立ち寄ると、海苔などの名物や自慢の一品をもらえる「おみやげ券」、もしくは地元の喫茶店で一休みできる「レトロ喫茶券」のどちらかを利用できる。

当初は三月十九日の発売予定だったが、大震災の影響で延期に。沿線の



地域、観光の活性化のため「(京急)、大型連休前に発売することにした。京急と大田区は、京急が昨年五月、京急蒲田駅を一部素通りするダイヤ改正を行ったことから区が反発していたが、今回は連携した。京急は「(京急蒲田駅の問題を契機に)区などと街づくりのための協議を続けており、今回は最初の本格的な成果といえる」(広報)と説明。一方、区は「京急側も蒲田周辺の魅力を再確認してくれるようになったのでは。いい傾向」

地元の江戸前料理店や商店街の利用もできる京急の「大田江戸前きっぷ」

(幹部)と見ている。雑色商店街振興組合の前嶋今朝理理事長(左)は「うちの商店街は羽田にそれほど近くはないが、元気で頑張っている。羽田は原発事故の影響で外国人客が減ってしまった残念。この切符を利用して、商店街に遊びに来ていただければ」と呼び掛けている。

価格は、羽田空港を含む区内のみの利用は千八百八十円。品川駅からは千九百五十円。利用は当日一日のみ。切符は京急線各駅(泉岳寺駅除く)で購入できる。問い合わせは京急(案内センター) 電話03(5789)8686へ。

フリー切符と  
 食事券セット  
 活性化へ大田区と連携